

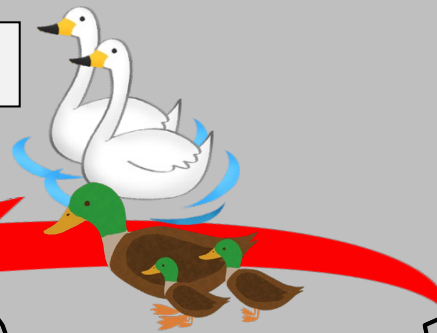
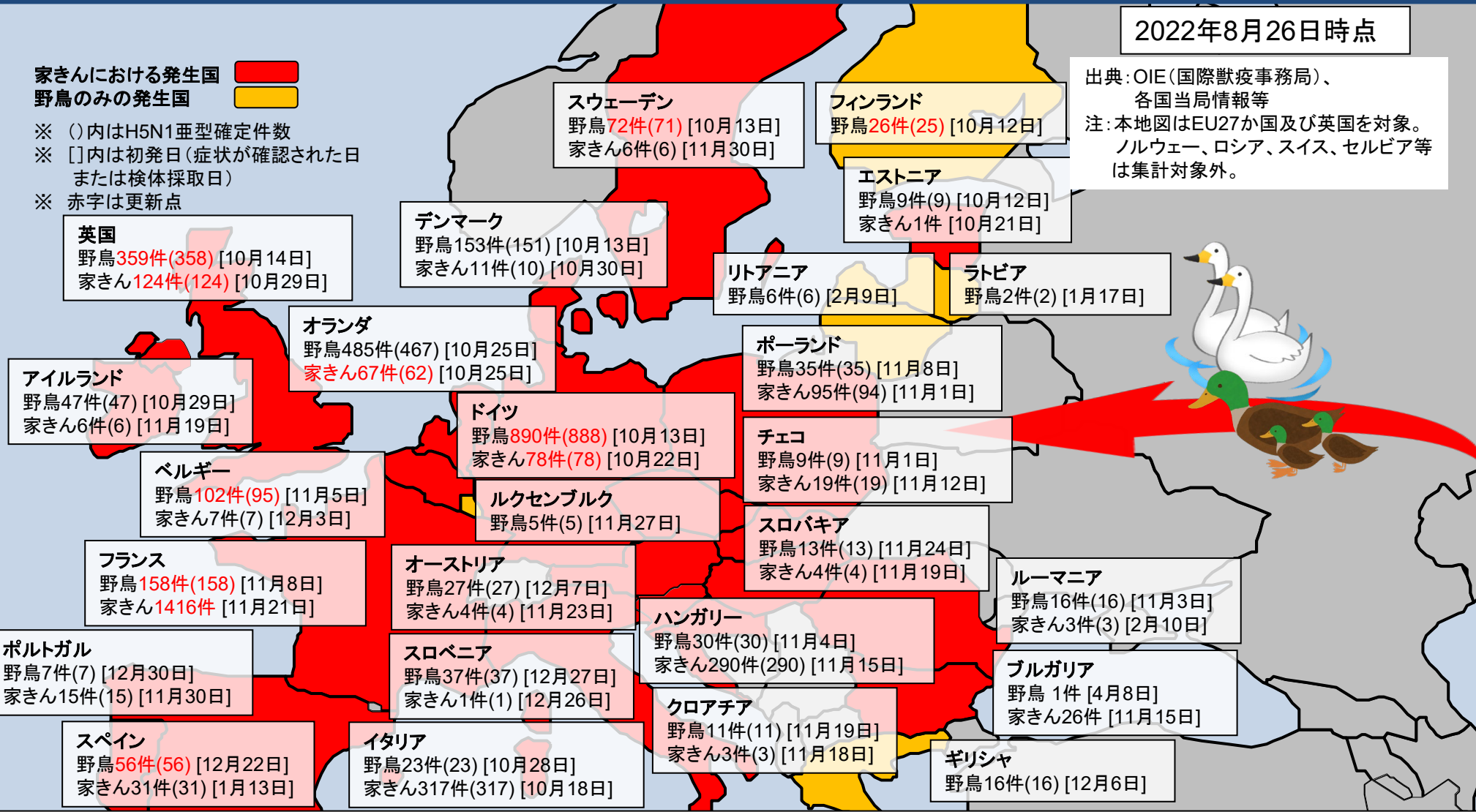
欧州における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2021年10月以降)

2022年8月26日時点

家きんにおける発生国 ■
 野鳥のみの発生国 ■

※ ()内はH5N1亜型確定件数
 ※ []内は初発日(症状が確認された日
 または検体採取日)
 ※ 赤字は更新点

出典: OIE(国際獣疫事務局)、
 各国当局情報等
 注: 本地図はEU27か国及び英国を対象。
 ノルウェー、ロシア、スイス、セルビア等
 は集計対象外。



【今シーズンの発生に関するFAO(国連食糧農業機関)の見解】
 ヨーロッパ西部で渡り鳥にH5亜型のHPAIが確認されており、渡り鳥の飛行ルート上にある国では侵入リスクが高い。
 9月中旬にロシア南東部の野鳥からH5N1 HP AIが検出されたのを皮切りに、ウイルスが西方に移動していることが報告されている。

【今シーズンの発生に関するEC(欧州委員会)の見解】
 夏にロシアのカザフスタン国境付近の野鳥及び家きんにおいてH5N1 HP AIが発生。
 9月末にチェコで確認されたH5N1ウイルスは、2021年の春から夏に欧州で確認されたH5N1ウイルスとは異なる遺伝子型であった。

令和4年度 国内における高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ発生状況

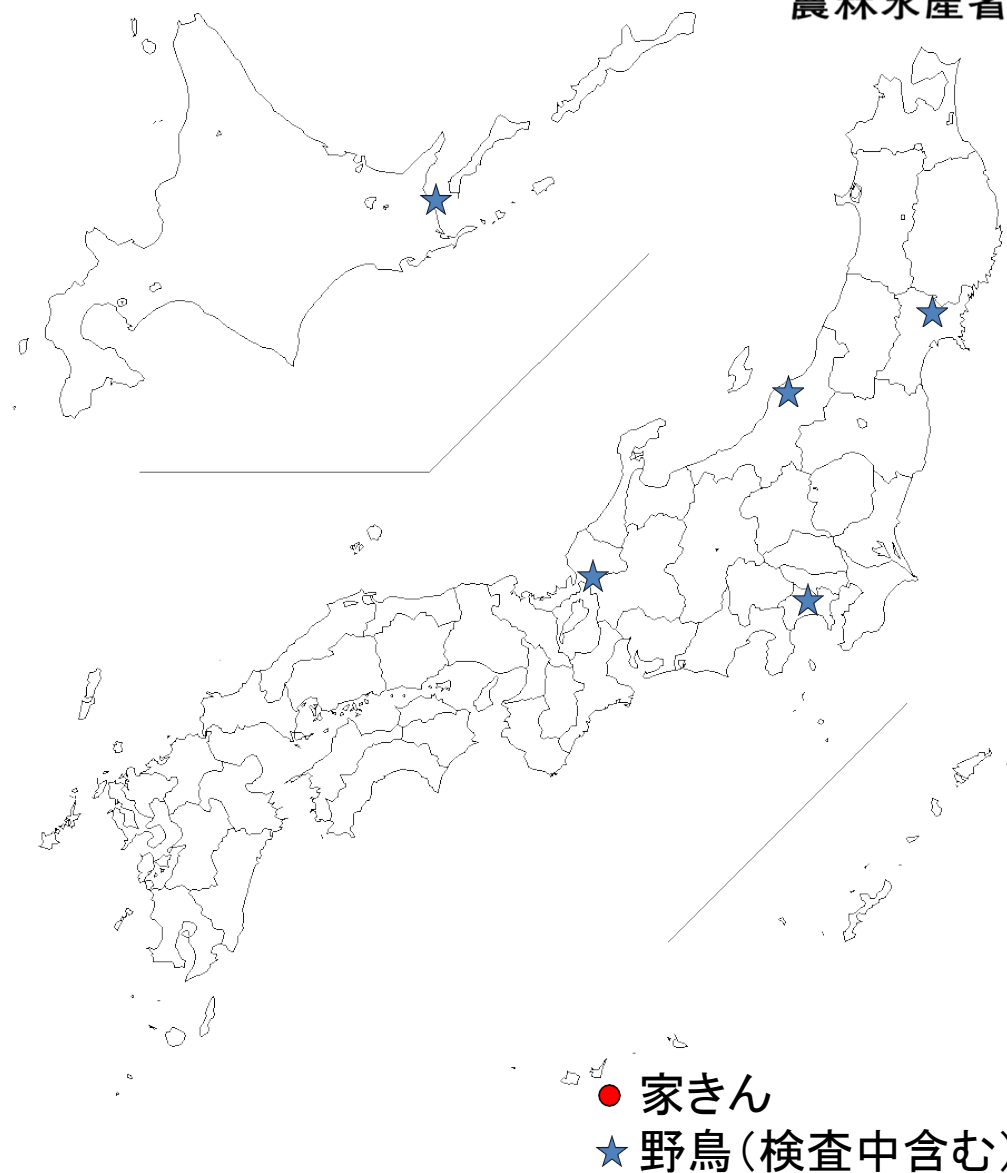
(令和4年10月20日時点)

MAFF
農林水産省

○野鳥 6事例

※詳細は環境省HP参照 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/

	検体回収場所	検体回収日	種名	病原性	亜型
1	神奈川県伊勢原市	9/25	ハヤブサ	HPAI	H5N1
2	宮城県栗原市	10/4	マガン	HPAI	H5N1
3	福井県南越前町	10/11	ハヤブサ	HPAI	H5
4	北海道別海町	10/8	糞便(ガンカモ類)	HPAI	H5
5	宮城県栗原市	10/14	マガン	HPAI	H5
6	新潟県新潟市	10/16	ハヤブサ	HPAI	H5



※ HPAI: 高病原性鳥インフルエンザ
LPAI: 低病原性鳥インフルエンザ

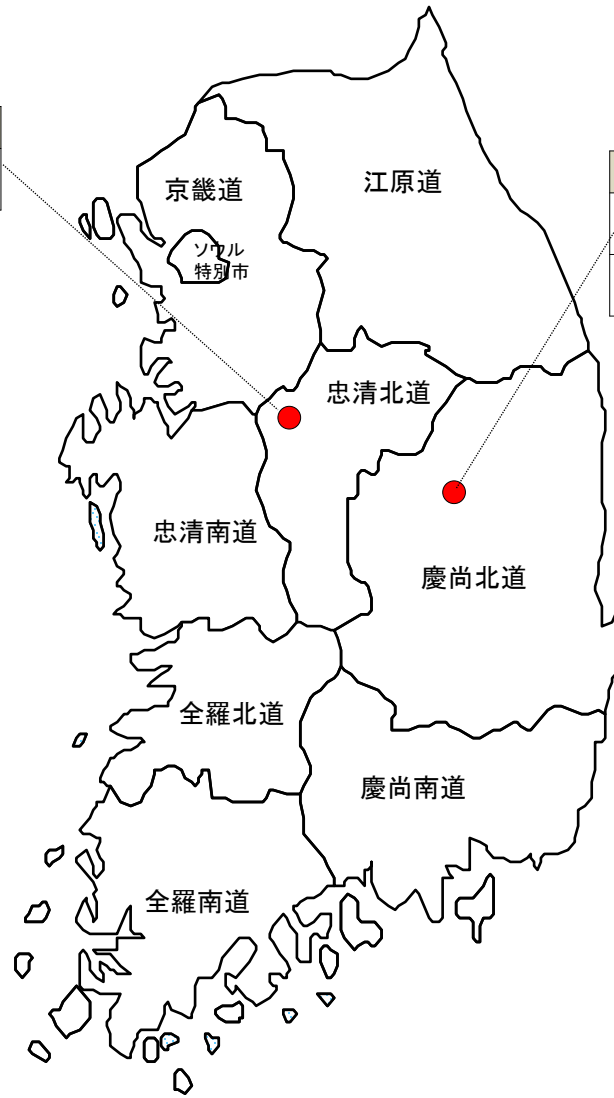
韓国の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生状況（2022年10月以降）

2022年10月26日時点
農林水産省動物衛生課

出典：韓国農林畜産食品部
※日付は症状が確認された日または検体採取日
※赤字は更新箇所

忠清北道			
2022.10.26	鎮川郡	H5 (病原性 検査中)	肉用アヒル

慶尚北道			
2022.10.17	醴泉郡	H5N1	種アヒル
2022.10.21	醴泉郡	H5N1	肉用種鶏



● : 発生地点

濟州道